



1. BRB メディカルサロンが提携している東京都済生会中央病院総合健診センター。2. 国立がん研究センター中央病院検診センター。3. がん研有明病院健診センターでの健診も手配可能。他にも最新・最良の検査機関と多数提携し、会員一人ひとりに適した精緻で専門性の高い健診を多彩な選択肢の中からご提案。専属の看護師が個別の健診プログラムを作成し、各専門分野の顧問ドクターが個別カウンセリングを行うことにより、精度の高い健診を可能にし、最適な予防から病気の早期発見に繋げている。日常的な不調にも対応し、症状に合った最適な医療機関と精鋭医を紹介。面倒な手続きも専任の担当看護師が速やかに行い、希望者には病院へ同行もする。

がん専門の医療施設など、通常では予約困難な施設も迅速に手配する。こうした中立性はひとえに会員一人ひとりに最適な医療を提供するために、セカンドオピニオンを得るためのみならず、万が一病気が発見された際にも最適な医療機関と専門医に即座に連携を取ることができる。医学界の権威による強固なネットワークは、会員に大きな安心感をもたらしている。日々の不調も、看護師に相談すると即座に対応してもらえるので、病院探しなどの心理的負担が軽減される。BRBの事業部長、加藤玲子氏はいう。「どの診療科にかかり、どの病院にどう予約したら良いのか分からない、どうしてもしたら名医に診てもらえる

のかが分からないという悩みにも、私どもが然るべき医師を速やかにご紹介しますので、ご心配には及びません。また、その先生が最後まで責任を持って診てくださることも、ご信頼を得ている理由です。最新医療をお望みの方でしたら、適正判断にも対応いたします」。本人の希望や必要に応じて、看護師が病院に同行することも。こうした手厚いサービスと高い信頼性から、3世代にわたる会員も多いという。車の部品は替えがあっても、人の体は替えが利かない。愛車同様、自身の定期点検も怠らず、BRBをパートナーに、健やかで末永いハッピーカーライフを目指してはいかがだろう。

人生というロングドライブの頼れるパートナー



日本臨床内科医会名誉会長の独田亨男氏を筆頭に、東京大学や慶應義塾大学の日本医学界を率いる権威あるドクター陣を迎え、強固な医療ネットワークを有する会員制医療クラブ。個別カウンセリングと個別健診プログラムにより会員の健康データを徹底管理。万が一の疾患にも迅速に対応し、ネットワークを駆使して最適な医療機関と精鋭医を紹介する。法人会員として入会すると、福利厚生の一環として損金計上が可能に。付帯サービスは全社員が対象となる。所在地は、プライバシーに配慮した都内の老舗高級ホテル内。

BRBメディカルサロン

新宿区西新宿2-2-1京王プラザホテル内
☎ 0120-123-011(受付時間 平日9:00~17:30) brb.co.jp/medical

Health Maintenance



「人生100年時代」を謳歌するために

より長く人生を生きる時代であればこそ、愛車とともに過ごす時間も健やかかつ末永くあって欲しいもの。そのために日々の健康管理は欠かせないが、実践が難しいのも事実。多忙であれば尚更だろう。そこで頼りになるのが、会員制医療クラブ「BRBメディカルサロン」(以下、BRB)。日本医学界を代表する錚々たる医師たちが、顧問ドクターとして在籍する。

1991年の創立以来、高い信頼を築きつづけている背景には、顧問ドクターによる個別カウンセリングと会員専属の担当看護師制がある。私たちは、とかく人間ドックを受けることで安心しがちだが、顧問ドクターの一人、慶應義塾大学名誉教授の村井勝氏はいく。「最新の優れた検査機器、検査をする人の技術、その結果得られた情報を診断する力、これらが揃ってこそ精度の高い検査結果と、病気の早期発見に繋がることを知る方は、まだまだ少ないと感じています」。BRBでは経験豊富な看護師が会員一人ひとりに付き、内服薬や病歴など、詳細な健康情報をデータ化して健診プログラムを作成。各自に最適な医療機関を紹介する。検査結果が共有されると、顧問ドクターが個別カウンセリングを行い、会員の体質や既往歴、過去のデータと照らし合わせて健康状態の推移を把握。平均値に基づき診断する一般的な人間ドックの弊害を解消する。さらにダブル、トリプルチェックを行うことで診断の精度を高め、病気の早期発見と予防に繋げている。

BRB Medical Salon カーライフを楽しむ続けるためのメディカルサロン

国内屈指の名医が多数在籍する「BRBメディカルサロン」。強固なネットワークで最新・最良の医療機関と繋がり、顧問ドクターが、末永いカーライフを支えてくれる。
Words_Mari Maeda(lefthands) Edit_Shigekazu Ohno(lefthands)

特徴的なのは、独自の医療機器や施設を持たない点。常に最先端技術を保有する最良の検査施設と提携し、有名大学病院や